



広報



みんなで作る、未来へつなぐ。あふれる笑顔、びらとり。



びらとり

No.752

2026.

3



3月13日 振内中学校卒業式

令和8年度 町政執行方針

3月6日(金)に招集された令和8年第2回町議会定例会において、町長、教育長より新年度の町政執行に関する基本的な方針が述べられました。その概要をご紹介します。



平取町長 遠藤 桂一

第7次平取町総合計画のテーマである「みんなであらう！びらとり」の未来(あした)を掲げ、町民と一緒にそれできる夢(あした)を実現できるまちづくりを引き続き進めていきたいと考えています。

本とし編成しました。一般会計の総額は80億6千万円で令和7年度と比べ8.1%、6億700万円の増となっております。住民ニーズや将来を見据えた事業への対応、さらには義務的経費の増大などにより、財源の確保や配分などは依然として厳しい状況は続きますが、本予算の執行にあたり、分野ごと重点的に取り組んでいく所存です。

豊かな心を育む まちづくり (教育・文化)

「平取町アイヌ施策推進地域計画」に基づき、平取町のアイヌ文化の継承、復興のため、地域の団体、国、関係団体との連携のもと、多様な文化の共生、共存を国内外に発信するとともに、沙流川流域のイオル(伝統的生活空間)の再生、21世紀・アイヌ文化伝承の森プロジェクト事業などの各種事業も様々な視点からの検証により、さらなる内容の充実を図り、継続的に取り組めます。

令和8年度は、アイヌ文化の伝承、保存に貢献される国会議員の立場でアイヌ新法等の制定に関わり、萱野茂氏の生誕100周年となり、博物館での特別展など記念事業を実施する予定です。

【平取高等学校の存続】

高校がなくなることで地域の衰退が懸念されることから「平取高校の魅力化を図り存続させる会」での協議などをもとに、入学希望者の取り組みを強化してまいりました。



令和6年度から地域みらい留学を通じた全国募集や内部進学率の向上に努めた結果、令和8年度に入学希望者は33名となりました。道外、町外からの入学を受け入れるため、令和8年度に学生寮を整備する予定です。

健康で 楽しく暮らせる まちづくり (保健・医療・介護・福祉)

【健康づくり】

町民の健康寿命の延伸を目標として一人一人が自分らしく豊かな人生を遅れるよう健康づくり活動を推進してまいります。

「第1期平取町健康増進計画」のなかで、特に重点的に取り組む「生活習慣病的対策」、「こころの健康対策」、「禁煙対策」を基本に、働き世代への介入を増やし、事業所等での保健指導、健康教育を強化するとともに、各種検診の受診率向上に向けた勧奨等の取り組みを進めます。

【地域医療】

平取町国民健康保険病院は、地域の基幹的な公的医療機関として、町民の健康を支える重要な役割を果たしています。

活力を生む まちづくり (産業)

【農業】

平取町の主要作物である施設野菜の栽培は、昨今の地球温暖化の影響や資材の高騰により、令和7年度の販売額はトマトで42億8,190万円を超え、「びらとり」ブランドは確実に定着しています。

「びらとり和牛」は、先人が築いてきたブランドを継承するために、厳しい時期を乗り越える持続可能な生産体制づくりを畜産公社や関係農家、農協、関係団体との情報共有などにより、様々な視点での検討を進めます。

障がいのある方が、必要な支援を受けながら、地域で自立した生活を送り、地域とつながることをめざして、各種サービスや計画的に提供できるような「第1期障がい者プラン」に基づき推進してまいります。

【障がい者福祉】

平取養護学校高等部の卒業生を含む障がいのある方が、可能な限り地域での自立をめざすことができれば、住居などの確保のため、令和8年度で本町グループホームの建設と指定就労継続支援事業所の整備に向け、具体的な整備を検討してまいります。

【アイヌ福祉】

アイヌの人々の生活の安定と雇用の促進を図るため、生活相談支援体制を充実させるとともに、各種貸付制度等は、利用する側

安心して 子育てできる まちづくり (子ども・子育て支援)

令和7年度を初年度とする「第3期平取町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子ども家庭センターを核とした相談・支援のワンストップ化を進め、母子健康手帳の交付や乳幼児健診、予防接種など総合的な母子保健事業を実施し、妊娠時から切れ目のない支援を行い、平取町の子どもが、健やかに育ち、安心して子育てができる環境づくりを進めてまいります。

【妊娠・出産・子育て支援・地域の子育て支援】

令和7年度を初年度とする「第3期平取町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子ども家庭センターを核とした相談・支援のワンストップ化を進め、母子健康手帳の交付や乳幼児健診、予防接種など総合的な母子保健事業を実施し、妊娠時から切れ目のない支援を行い、平取町の子どもが、健やかに育ち、安心して子育てができる環境づくりを進めてまいります。

【保育・幼児教育】

児童数が減少してゆくなか、町内の認可保育所や認定こども園の運営は厳しい状況にあり、さらに保育人材の確保も課題となつてまいります。



また、国の制度改変に伴い水田の畑地化が急速に進み、「地域計画」に基づく農地の保全や有効利用の重要性が高まっていることから、畑作物や露地野菜の作付振興、耕作放棄の防止等、各地域の課題解決に向けて十分に協議を重ね対応していきます。

【林業】

平取町の森林は豊かで恵みある貴重な自然資源です。森林環境保全整備事業や森林環境譲与税を活用し、持続可能な森林整備を推進していきます。

町有林の適切な管理と循環型経営を確立するため、年間皆伐事業量を30ヘクタールと設定し、必要な施策を計画的に進めるとともに、民有林は、森林整備計画に基づいた造林事業等を推進し、所有者の経営安定を図ります。

合わせて、林業の生産性向上を図るために、森林施業の基盤となる林道等の開設や適切な維持管理を進めます。

担い手不足と就業者の高齢化が進んでいる森林作業現場には、労働条件の改善、技術・技能の向上、労働災害防止等を図るための助成や支援を進めていきます。

また、子どもたちの豊かな心を育むための木育推進事業を進めます。

【商工業】

継続可能な経営を支援するため、後継者対策として事業承継支援制度、小規模事業者の借入れに対する利子補給制度を継続運用するとともに、町内での起業環境の整備や地域の素材を活用した新たな商品開発、空き店舗を活用した賑わいの創出など、商工会や関係機関と連携し積極的に進めていきます。

【雇用・人材育成】

農林業、建設運輸業、医療福祉など地域を支える産業の担い手確保に向け、各事業所などにおける労働力確保や技術継承などを支援します。

地域資源を活かしたまちづくり（観光）

【観光基盤・観光資源】

アイヌ文化体験などによるアドベンチャーツーリズムの提供、観光資源としてのすずらん群生地、国立公園ポロシリ、二風谷コタン、びらとり温泉ゆかた、義経神社、映画ロケ地、二風谷ファミリランドなどへの積極的な誘客と合わせ

観光資源の新たな掘り起こしを観光協会やアイヌ文化振興公社など関係団体と連携し推進します。ふるさと納税は、平取町の魅力向上と新たな返礼品の掘り起こしや特産品のPR効果を期待し、寄附額4億円をめざして取り組みを強化していきます。



【観光プロモーション・観光体制】

観光情報の効果的な発信のため、各種メディアやSNS、WEBなどの媒体を活用しながら、首都圏でのプロモーションや公式キャラクターによる発信を強化します。

平取町の観光事業の主体となる観光協会の機能を強化し、観光事業の担い手や自然、文化ガイドなどの人材の育成を進めていきます。

環境に優しい

まちづくり（ゼロカーボン・環境共生）

【脱炭素・エネルギー・循環型社会】

ゼロカーボンシティ宣言に基づく地球温暖化対策実行計画に取り組み、木質バイオマスの活用をはじめ、地域の再生可能エネルギー活用による地域内経済循環型システムの構築と家庭での脱炭素の啓発や取り組みを進めます。

また、ごみの減量化、資源のリサイクルを積極的に推進し、負荷環境の低減をめざした循環型の地域づくりを進めていきます。

【自然環境】

日高山脈襟裳十勝国立公園をはじめ、平取町の豊かな自然環境を次世代へ継承するため、緑化の推進など適正な保全活動を推進します。

また、ヒゲマヤエゾシカなどの有害鳥獣対策を関係機関と進めていきます。

【景観・公園】

平取町景観計画や平取町文化的景観保全計画などに沿って景観の保全に努めていきます。

快適に暮らせる（安全・安心なまちづくり）

【防犯・交通安全】

警察、推進団体、自治会などと連携協力を深め、町民を犯罪及び交通事故の被害者にも被害者にもさせない意識の啓発と環境づくりに取り組むとともに、詐欺や悪質商法に関する情報提供などを行い、被害防止対策を強化していきます。

【防災・減災】

災害時における危機管理体制を充実させ、迅速な対応を可能とする体制を強化するため、計画的な備蓄品の確保、関係機関、団体との協力体制の確保や町民の防災意識の向上を図り、減災及び想定する災害に対応できる体制を構築していきます。

【救急・消防】

消防の資機材の充実強化、消防団との綿密な連携に努め、有事の際の適切な対応を図ります。救急体制は、各関係機関との連携強化、救急隊員のスキルアップ等、救命率の向上に努めます。

老朽化した平取消防署消防団本部合同庁舎の建て替えについても検討していきます。

【道路・交通】

日常の巡回、連絡体制の強化、予防保全型の維持補修により道路、橋梁施設の長寿命化を図り、幹線道路の適切な維持管理に努めます。国・道が管理する道路施設では、一般国道237号の維持補修をはじめ町内に多くの整備箇所があり、引き続き関係機関に早期整備を強く要請していきます。

地域公共交通の運用は、通学や高齢者や障がい者の移動手段の確保のため、現在の路線バス、デマンドバス、福祉バスなどの利用実態等を基に、それぞれのニーズに対応できる持続可能な公共交通の在り方を検討します。

【水道・生活排水・河川】

安全な水の安定供給のため、「簡易水道配水管長期整備計画」に基づき、効率

的な水道管の更新を進め、水道事業会計の健全化を図ります。

生活雑排水施設の適正な処理能力の維持は、新たな視点で持続可能な処理施設の改修などを検討していきます。

町管理河川は、堆積土砂の除去等を計画的に進め、災害時に備えるとともに、国・道管理河川の河道掘削や樋門の整備なども継続的に要望していきます。

「平取町かわまちづくり計画」に基づき、国との連携による水辺空間の整備・保全を行い、アイヌ文化の伝承や観光、交流事業にも河川利用を図ります。

【情報通信】

光ファイバー網の適切な管理と新たな情報インフラ整備の検討を進めるとともに、町民がデジタル技術の利用に不安や困難を感じることなく、安心して暮らせる環境を整備していきます。

【住環境・住宅・土地利用】

町内での暮らしや雇用の確保には、住環境の整備が必須の条件となることから、「平取町住生活基本計画」に基づき、民間資本やノウハウを活用し、公営住宅等の整備を進めます。また、民間の賃貸住宅の増設を進めるため、支援制

度を継続するとともに、空き家バンクの充実や空き家活用など、住宅数の確保を図っていきます。

また、町内の良好な景観の形成や倒壊による事故防止の観点から、廃屋等の撤去を進めます。未利用町有地の計画的な利活用で、新たな産業創出や定住促進などにつなげていきます。

みんなで歩む

協働のまちづくり（協働・参画のまちづくり）

【住民協働・コミュニティ】

町民ひとり一人が、自身がおかれていくコミュニティの必要性を認識し、共助や行政との協働でこころふれあう地域づくりをめざすため、自治会活動やコミュニティ活動を積極的に支援します。

合わせて、中高生など若い世代がまちづくりに参画できる多様な機会を創出し、地域活動の担い手を育てていきます。

【人権尊重・多様性】

女性や子ども、高齢者、障がい者、外国人などすべての方の人権が尊重される社会や地域をめざし、人権教育や相談体制の充実を支援していきます。

【広報・広聴】

広報誌、ホームページ、公式LINE等の多様な媒体を効果的に組み合わせ、町民が必要な情報を迅速に入手できる環境を整えるとともに、双方のコミュニケーションツールを活用した住民意向を把握する手法なども検討します。



【行政財政運営・行政サービス・DX】

多様化、変化する住民ニーズに対応できる役場機能の構築と職員の育成、人材の確保のため、研修の強化や人事交流、大学生や高校生のインターンシップ制度の導入などを積極的に進めるとともに、ハラスメントの防止、労働環境の改善など、働きやすい職場の環境づくりを進めます。

AIをはじめDXの導入により、マンパワーの補完と行政文書のデジタル化やペーパーレス化による事務効率の向上を図ります。

また、当町でも大規模な太陽光発電設備の整備の需要が高まる傾向にあり、脱炭素社会の実現と良好な景観形成の両立を図るための検討を進めます。

多様化する住民ニーズに限られた財源で、最大限の対応を図るため、事務事業等の選択、施行は極めて、難しいものがありますが、議会、町民の皆様と情報を共有し、様々な課題に向き合いながら解決の手法を探り、この平取町を次の世代に引き継ぐための努力を続ける所存です。

さらなるご支援とお力上げをお願いします。

教育行政執行方針



教育長 松田 拓美

「平取町の歴史・風土や文化を愛する心豊かな人づくりをめざして」を基本理念とし、豊かな自然と地理的条件のもと、この地に先住し自然を敬い共生してきたアイヌ民族や先人たちがともに築いた郷土の歴史・文化の理解を深めながら、厳しい社会を生き抜くためのスキルを身につけた人づくりを目標とします。

学校・地域・教育委員会が相互に連携・協働し、地域課題の解決を通じて、持続可能な地域づくりを通じて、教育行政を推進していきます。

学校教育の充実

(1) 学力の向上
全国学力・学習状況調査への参加と町独自で行う標準学力検査の調査と結果の分析・検証を速やかに、学習活動を「個別最適な学び」と「協働的な学び」の視点から捉え、知識・技能、思考・判断・表現力、主体的に取り組む態度の育成に向けた授業改善に取り組み体制づくりを進めます。

ICT教育の推進

GIGAスクール構想により児童生徒一人ひとりにタブレット・パソコンや高速ネットワークが整備され、これらの機器を効果的に活用することが重要です。教員の活用スキルの向上と児童生徒の機器活用能力の向上を目指すとともに、情報モラルの指導も行っていきます。さらに、家庭学習との連続性を進め、学習内容の充実と主体的な学びの充実を図ります。

特別支援教育の充実

障がいのある無にかかわらず、児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じて、学習面や生活面の困難さを軽減し、可能性を最大限に伸ばす教育の推進を目的とします。発達障害や不登校など、様々な要因により学校生活に困難を抱える児童生徒に対し、個々の状況に応じた支援を行うとともに、スクールカウンセラー等の専門職や関係機関と連携し、心理的安全性を重視した教育環境の整備、教職員研修の充実、校内支援体制の強化を通じて、安心して学び続けることができる学校づくりを進めます。

アイヌ文化学習の推進

平取町の重要な財産であり、町の振興発展に欠かせない教育資源でもあるアイヌ文化を、すべての児童生徒が学びを深め、郷土を誇りに思えるような学習機会の提供と環境づくりに努めます。

キャリア教育の充実

自己の将来像や生き方について考える機会を大切にし、体験的な学習を通して、自己理解を深めるとともに、現在の学びと将来の進路とのつながりを意識できるように支援し、発達段階に応じた社会的・職業的自立に必要な資質・能力の育成に取り組めます。

生徒指導体制の充実

いじめの未然防止及び早期発見・早期解消に向け、組織的かつ迅速な対応、体制の充実を努めます。また、不登校や支援を要する児童生徒及びその家庭への対応には、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを効果的に活用し、教職員の対応力向上を図り、児童生徒の心のケアや教職員・保護者への心理的支援を充実させ、学校と関係機関が連携した組織的な支援を進めます。

教育環境の整備

(1) 教育施設の維持管理
令和7年度までに、全小中学校の普通教室へ空調設備を整備し、児童生徒が良好な環境のもとで学習できる体制を整えました。今後、教育施設の計画的な環境整備と適切な維持管理に努め、安全で快適な学習環境の確保を図ります。

学校給食・食育

児童生徒が食の大切さを理解するうえで、学校給食は重要な役割を担っていることから、栄養教諭をはじめとする給食関係者の衛生意識の向上と管理の徹底に努め、安全で安心な学校給食の提供を図ります。

学校の適正配置

少子化の進行により学校の小規模化が進む中、良好な教育環境の確保と学校規模の適正化を図るため、該当する学校について、令和8年度も引き続き協議・検討を進めます。

学校部活動の地域展開

令和8年2月に、学校部活動に代わる「平取町地域クラブ」を創設しました。今後は、日高町等との連携・協力を一層深め、指導者の育成や確保、安定的な運営に向けた財源確保などの課題解決を図りながら、生徒が継続してスポーツや文化活動に親しくむことができる環境づくりに進めます。

平取高校の魅力化

今年3月の入学者出願状況は、一昨年の6名増加の21名からさらに増加し、30名を超えています。令和8年度も「平取高校の魅力化を図り存続させる会」を中核として、教育委員会・平取高校・びらとり義経塾の連携をさらに強め、高校の魅力向上に向けた取組を進めます。

生涯学習・社会教育の充実

(1) 青少年育成活動の推進
青少年を取り巻く環境が大きく変化する中、地域住民との関わりや多様な社会体験の機会を大切に、地域社会の一員としての自覚と責任を持ち、健康やかに成長できる環境づくりを推進します。

成人・高齢者教育の充実

生涯学習への意識向上を図り、町民一人ひとりが生涯にわたって主体的に学び続けられる学習環境の整備を進めます。

読書活動の推進

魅力のある蔵書の整備と資料提供の充実を図り、住民の教養や調査研究、余暇活動を支えるとともに、生涯にわたる読書習慣の定着を推進します。また、町内各学校や関係団体、ボランティアと連携し、児童生徒の読書活動及び学校図書室の充実を支援します。

生涯スポーツの推進

スポーツを通じ、子どもから大人までが世代を超えて交流し、健康で活力あふれる地域づくりを進めます。

また、各種スポーツ行事や教室の開催、指導者の育成・支援に取り組むとともに、スポーツ関係団体と連携し、競技力の向上や地域に根ざしたスポーツ活動の充実を図ります。



文化財の保存と活用

(1) 二風谷アイヌ文化博物館

貴重なアイヌ文化を伝承する拠点として、所蔵資料の適切な管理に努め、常設展示や特別展の開催など、魅力ある博物館運営を推進します。また、二風谷工芸館をはじめとする周辺施設と連携し、学習機会の充実や来館者対応の向上を図ります。

沙流川歴史館

企画展示室やレクチャーホールを活用した企画展・特別展・講座等を継続的に開催するなど、関係団体と連携した施設の活用を進めます。展示什器等の必要な整備と適切な管理運営を図りながら、まちの歴史や自然などに触れる学習の機会を提供に努めます。

開拓財産

平取町の開拓期に使用された農機具や生活用品を適切に保存し、当時の産業や暮らしを理解できる展示に努め、学校教育における総合的な学習の時間や郷土学習など、開拓財産の有効活用を推進します。

アイヌ文化伝承活動

平取アイヌ文化保存会をはじめ伝承活動団体への支援と協力を進め、活動の活性化と後継者育成に努めるとともに、体験学習の充実と魅力発信を推進します。

有形・無形文化財の保護と活用

有形文化財(国登録)「旧マンロー邸」や重要有形民俗文化財「北海道二風谷及び周辺地域のアイヌ生活用具コレクション」、有形文化財(北海道指定)「二風谷遺跡群出土品」、有形

文化財(町指定)

「イタ(盆)」、「アットウシアミブ(樹皮衣)」など、地域の貴重な文化財を適切に保護し、関係団体と連携した活用事業を推進します。ユネスコ無形文化遺産にも登録されている重要無形民俗文化財(国指定)「アイヌ古式舞踊」、無形民俗文化財(町指定)「イタの制作技術」、「アットウシの制作技術」の保存継承活動や伝統行事への支援を行い、地域文化資源としての活用を図ります。

名勝・記念物の保護と活用

北海道を代表するアイヌ伝承地である名勝ピリカノカ(国指定)「幌尻岳(ポロシリ)」、「オキクルミのチャシ及びムイノカ」の保存と普及啓発、活用の推進を図ります。

重要文化的景観の保護と活用

また、天然記念物(町指定)「すずらん群生地」の適切な保存と活用を努めます。

重要文化的景観の保護と活用

重要文化的景観(国選定)「アイヌの伝統と近代開拓による沙流川流域の文化的景観」が第4次選定されることを踏まえ、関係機関と連携しながら、適切な保存と活用に向けた施策を計画的に推進します。

教育委員会の役割

教育委員会は、町及び関係機関と緊密に連携し、変化する社会や多様化する教育課題に的確に対応しながら、平取町の未来を担う子どもたちの学びと成長を支える教育の充実を努めていきます。

あわせて、町民一人ひとりが生涯にわたる学びと学び、生きがいや心の豊かさを実感できるよう、生涯学習・社会教育・スポーツ・文化財の各施策を総合的に推進し、潤いと活力のある地域づくりに寄与する「生涯学習のまちづくり」を目指してまいります。

町民の皆様並びに町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願い申し上げます。

令和7年度 地域おこし協力隊活動報告会

現在、平取町地域おこし協力隊として活動している11名が、2月26日(木)にふれあいセンターびらとりで、この一年間の取り組みや成果を発表する報告会を行いました。



地域の方々の見守りのもと、寮生が町のために行動できるよう、さらに地域との繋がりを意識した寮運営が必要だと感じました。

平取高校学生寮ハウスマスター 飯塚 紗綾 さん (1年目)



「ピラトリ★わいわい食堂」の実施など地域の食育活動にも取り組みました。4月からは事業継承者として貫気別地区で活動します。

平取高校学生寮ハウスマスター 権平 まゆ さん (1年目)



「IWOR アイヌ文化ガイド」を勉強し、アイヌ文化を中心に活動する取り組みを伝えていく仕事に挑戦します。

アイヌ文化伝承支援員 岸 愛香 さん (1年目)



国際先住民族フォーラムでは、学識者や海外ゲストの対応、発表資料の翻訳などに携わりました。

アイヌ文化伝承支援員 WONG HO YIN (黄浩然) さん (1年目)



地域との連携を深め、空き家バンクの登録、促進に努めました。空き家物件の活用拡大+移住・定住者の拡大で、町の活性化を目指します。

空き家コーディネーター 朱田 年秀 さん (1年目)



魅力ある情報発信を心がけるとともに、行政・地域・学校をより強固に繋げられるよう努力します。

高校魅力化コーディネーター 土佐 千春 さん (1年目)



アイヌ文化の伝統的な手仕事や古くから使われている植物素材の利用方法を教わっています。

アイヌ伝統工芸継承支援員 朝田 雪萌 さん (2年目)



基礎的な栽培技術と作業の流れを学ぶなかで、さらに改善しながら効率を高め、就農を目指していきます。

農業支援員 大塚 守 さん (2年目)中央
塩見 拓也 さん (1年目)右
宮澤 匠 さん (1年目)左



活動の目標としていた北海道アイヌ伝統工芸展で最優秀賞(北海道知事賞)を受賞しました。今後もアイヌ文化の担い手として、二風谷の工芸を守っていけるよう努めます。

アイヌ伝統工芸継承支援員 岡本 朋也 さん (3年目:任期満了)

新しい救急車が配備されました

平成20年に配備された救急車の更新に伴い、新しい救急車が配備され、4月1日より運用開始となります。

この救急車は、清潔感を出すためラインを青色にしている他、最新の医療機器や搬送設備が搭載され、より安全で迅速な救急活動が可能となります。

特に、電動ストレッチャーを導入したことで、患者さんをこれまで以上に安全な状態で搬送することができます。また、救急隊員の身体的負荷も軽減されるため、より安全で質の高い救急活動を行うことができます。

今後も町民の皆さまが安心して暮らせるよう、救急体制の充実と迅速な対応に努めます。



「まちの政策」 町議会行政報告

教育行政報告

3月6日(金)開催の第2回町議会定例会において、松田教育長から教育行政報告がありました。

町内小中学校の状況

12月19日に中学校、25日に小学校の終業式が行われ、冬休みに入り、冬休み中は事故等も無く、1月14日に中学校、20日に小学校の始業式が行われました。

1月中旬からは私立高校や公立高校推薦等の入学試験が始まり、3月4日・5日には公立高等学校の一般入試が行われたところ、平取高校の出願状況は、地元・道内外から33名となっています。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果

児童生徒の体力や生活習慣、食習慣、運動習慣の状況を把握し、体育・健康に関する改善と指導を図るもので、小学校5年生、中学校2年生を対象として実施いたしました。

全体の傾向として、握力がやや高め、体力合計点は中2男子以外はやや低い状況になっています。平取町としては、今後も体育専科教員を活用した指導体制の充実、ICT活用等による体育の授業改善の推進、栄養教諭による定期的な指導及び食育の推進などを考え進めていきます。(調査結果は15ページに掲載)

いじめ問題に関する児童生徒の実態把握調査結果

北海道教育委員会が年2回行っている調査の中で、昨年11月におけるアンケート調査の結果となり、町内小中学校児童生徒293名の回答状況となっています。

4月から、「いやな思いをしたことがあるか」との問いに対して「ある」と答えたものは49件あり、内容は様々ですが、その回答を重く捉え、学校は早期に担任が中心となり、関係する児童生徒への聞き取りを行い、保護者とも内容を共有し協力するなどして指導し、現在は解決したと報告を受けています。いじめは、「からかい」や「いじり」など些細なことから重大な事案になることもあり、今後の学校でも、注意深く児童生徒の状況を見守るとともに、「いじめは絶対に許されない行為である」ということを指導

していくよう学校に指示しています。また、スクール・カウンセラーやスクール・ソーシャルワーカーが訪問時には、子どもたちの悩みや相談を受けながら、子ども同士の関係性を把握するとともに、教職員や保護者とも信頼関係を深め連携し、いじめ防止に向けた取り組みを進めています。

体罰に関する実態調査結果

今年1月に小中学校7校の教員、小中学校では保護者、中学校では生徒及び保護者に対してアンケート調査票を配布し、回収は調査票またはウェブで行い、回答内容の点検、確認作業を終えました。回答状況では、平取町においては体罰の実態はありませんでした。

令和7年度平取町教育奨励表彰被表彰者の決定、授与式の実施

本年度の教育奨励表彰は、1月30日開催の教育委員会議において被表彰者を決定し、2月18日に表彰授与式を実施しました。(被表彰者および実績内容は、14ページに掲載)

第7次平取町総合計画(案)が答申されました

平取町総合計画審議会では、令和8年度から始まる10年間の「第7次平取町総合計画」の策定の審議を進め、新たなまちづくりに向けた総合計画(案)をまとめました。2月25日(水)に総合計画審議会 山田一明会長、櫻井幹也副会長から町長へ答申書が提出されました。(3月6日開催の第2回町議会定例会において議決) また、第7次総合計画のキャッチフレーズは、応募された49作品のなかから「みんなでつくろう!びらとりの未来(あした)!」に決定しました。

*第7次平取町総合計画の概要はP10~11に掲載



令和8(2026)年度 ▶ 令和17(2035)年度の10カ年計画

「第7次平取町総合計画」がスタートします！

～ みんなでつくろう！びらとりの未来（あした）！～

人口減少や少子高齢化、デジタル化の加速、そして脱炭素社会への対応……

いま、平取町を取り巻く環境は大きな転換点を迎えています。

こうした時代の変化を的確にとらえ、10年後（令和17年度）に私たちが「この町に住んでいて良かった」と心から思える未来を実現するために、町の最上位計画である「第7次平取町総合計画」を策定しました。

本計画は、町民・議会・行政が一つになって歩むための「未来の地図」です。

策定にあたっては、町民アンケートや意見交換、若い世代との対話などでいただいた声をもとに、総合計画審議会（全4回）での議論・検討を経て取りまとめました。

将来像を実現する8つのまちづくりの方向

将来像イメージ図（次頁右下図）では、平取町のまちづくりを8つの方向で表しています。町民一人ひとりが木の根もとに水やりをする姿は、皆さんの関わりや支えが、まちづくりの土台を育てていくことを表しています。それぞれの分野がつながり合いながら、暮らしやすいまちをつくっていきます。

① 豊かな心を育むまちづくり

学びや文化、スポーツなどを通じて、地域に誇りを持てる人づくりを進めます。

② 健康で楽しく暮らせるまちづくり

誰もが健康づくりに取り組み、安心していきいきと暮らせる地域をめざします。

③ 安心して子育てできるまちづくり

子どもを産み育てやすく、子どもの成長を地域で支えるまちをめざします。

④ 活力を生むまちづくり

地域産業やしごとを支え、平取町の魅力と活力を生み出す取組を進めます。

⑤ 地域資源を活かしたまちづくり

自然・歴史・文化・特産品など、平取町ならではの資源を活かしたまちづくりを進めます。

⑥ 環境に優しいまちづくり

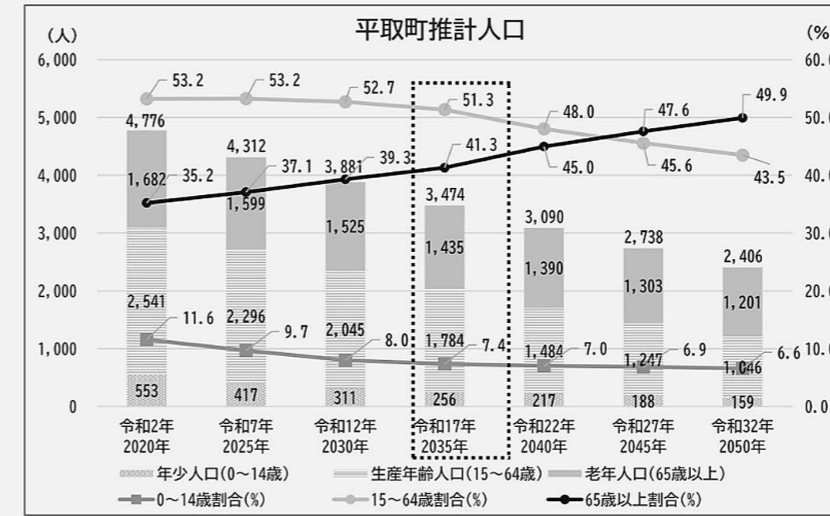
自然環境を守り、次の世代へ引き継ぐ持続可能な地域づくりを進めます。

⑦ 快適に暮らせるまちづくり

住環境や生活基盤の充実を図り、日々の暮らしの安心・快適さを高めます。

⑧ みんなで歩む協働のまちづくり

町民・地域・団体・行政が力を合わせ、対話と協力でまちづくりを進めます。



令和17(2035)年度

目標人口 **3,540人**

令和17年度の目標人口を3,540人と決めました。推計値(3,474人)に留まることなく、一人ひとりが暮らし続けられる環境を整え、人口減少のスピードを緩めます。

数字の向こう側にある、町民一人ひとりの豊かな暮らし。それがこの計画の本当のゴールです。

本計画では8つの基本目標に基づき、多岐にわたる施策を推進します。中でも町民の皆様に関わりが深く、変化の大きいプロジェクトをピックアップしてご紹介します。

☆ 高校の魅力化：全国から選ばれる「平取高校」へ【第1編 教育・文化】

これまでの「町内の生徒への支援」に加え、「地域みらい留学」の取組によって、都会では体験できない平取ならではの学びを武器に、全国の志高い中学生に選ばれる学校を目指します。また、町外からの生徒を受け入れるために、「共生型高校生寮」を整備し、地域住民との交流も生まれる「開かれた寮」を目指します。

☆ 子育て支援：こども家庭センターが寄り添います【第3編 子ども・子育て支援】

これまでの「経済的支援(手当など)」に加え、令和8年度からは「一人ひとりに寄り添う相談体制」を充実します。「こども家庭センター」の設置により、妊娠期から子育て期まで、切れ目のない相談支援を行います。

☆ 観光の転換：地域資源を「稼ぐ力」に変える【第5編 観光】

平取町では、豊かな自然やアイヌ文化、特産品などの地域資源を活かし、特色ある「滞在・着地型観光」コンテンツの構築を進めます。

総合的な観光案内の窓口・拠点の整備に取り組み、来訪者が安心して平取町の魅力を体感できる環境づくりを目指します。

SNSなどの各種媒体や公式キャラクターを活用し、海外からの旅行者も含めた積極的なプロモーションを展開します。

総合計画は、策定して終わりではなく、実行し、見直しを重ねながら育てていく計画です。

計画本文、概要版、小中学生向けの子ども簡易版は、町ホームページからご覧いただけます。



町ホームページ

【平取町総合計画審議会委員】※敬称略

会長 山田 一明(平取町自治振興会)

副会長 櫻井 幹也(平取町商工会)

平取町自治振興会：互野 勝弘、奥村 寛行、坂下 晋章、本間 稔浩、平取町社会福祉協議会：泉澤 敏裕、平取アイヌ協会：宇南山 嘉宜、びらとり農業協同組合：瀧 芳久、沙流川森林組合：松原 俊幸、連合北海道平取地区連合会：仙北 芳樹、平取町農業委員会：宮入 司、一般公募：栗山 昌則、渡邊 直子

<将来像イメージ図>



計画本編 II 基本構想/3. 将来像のイメージ図から抜粋

◆ 苫小牧信用金庫
企業版ふるさと納税で 100 万円 ◆

2月5日(木)、苫小牧信用金庫（理事長 久保田 順司氏）より、100万円のご寄附をいただきました。
このご寄附は「子どもを産み育てやすく、豊かな心を育む環境をつくる事業（平取高校魅力化プロジェクト事業）」に活用させていただきます。



◆ ご寄附・地域貢献活動に感謝します ◆



株式会社 草塩建設（代表取締役 草塩 広幸氏）より、町営牧野（紫雲古津農場）周辺の水路の凌瀝および土砂の敷均、流末周辺部の清掃整備をしていただきました。



池田建設株式会社（代表取締役 池田 厚志氏）より、教育委員会へ熊撃退スプレー、熊鈴をいただきました。



株式会社 IHI インフラシステム北海道支店より、二風谷ファミリーランド管理棟への案内看板を更新していただきました。



株式会社 平村建設（代表取締役 平村 徹郎氏）より、すずらん群生地内の集積木の撤去・処理と記念撮影スポット用「ピラッキー」顔出しパネルを設置していただきました。



札幌市 福富 牧子氏より、旧上山商店（店舗併用住宅）の建物が寄贈されました。
4月から「空き家コーディネーター事業」や「本町にぎわいレンタルスペース事業」で活用します。ご厚意に感謝いたします。



日高寺 檀信徒一同（日高町富川）より、寄附金をいただきました。ご厚意に感謝いたします。

「ミライシード AWARD 2025」最優秀賞受賞

令和7年度から町内小中学校に導入されたベネッセコーポレーションの授業支援アプリ「ミライシード」を活用し、「主体的な学び」「協働的な学び」を推進する授業の取り組みで、平取小学校 高橋 七美 教諭が、全国小学校の部で最優秀賞を受賞され、3月12日(木)にベネッセコーポレーションより表彰状が授与されました。「ジェンダー」という難しいテーマに対し、児童自身が気付き、問い直す学習として丁寧に作られ、他教科にも広がる可能性をもつ実践として高く評価されました。



nibutani winter
二風谷コタン DAY



冬の二風谷コタンで新たな魅力を発見してもらおうと、2月7日(土)に開催され、アイヌ文化体験の「昼のコタン」、ライトアップされた幻想的な「夜のコタン」を楽しんでいただきました。



2/13 大地連携ワークショップ 冬
in びらとり 成果発表会



今年も2月9日(月)から6日間にわたり、アイヌ文化に関心の深い大学生が、地域の方々と交流しアイヌ文化の体験を通して、地域文化の課題を考える大地連携ワークショップが開催され、全国から16名の学生が集い、学び合いました。

2/21 シシリムカアイヌ文化祭
～第36回アイヌ文化伝承活動発表会～



アイヌ口承文芸や伝統工芸の製作など、日頃からアイヌ文化の伝承に取り組んでいる活動発表が中央公民館で開催されました。特別公演では、様似民族文化保存会による古式舞踊が披露され、互いの伝承文化で交流を深めました。

無病息災を願って ～義経神社 初午祭～

今年の「初午祭」が2月13日(金)に斎行され、町内外の軽種馬生産者や競馬関係者が参拝し、馬体安全、開運必勝を祈願しました。「矢刺の神事」では、今年の行事者となった 小林 史明氏（荷葉）が、今年の凶方位である真北に向け3本の破魔矢を放って邪気を払い、安寧を祈願しました。





教育委員会からのお知らせ

令和7年度平取町教育奨励表彰

2月18日(水)、令和7年度平取町教育奨励表彰授与式が中央公民館で行われ、1団体8個人が受賞され、松田教育長より表彰状と記念品が授与されました。

【社会教育奨励】

日高雅楽会 (荷菜)
平成28年より10年にわたり、放課後子ども教室で雅楽教室を開催し、加えて平成30年より地域学校協働活動として平取中学校で雅楽教室を行い、古典音楽体験を通して子どもたちの感性や豊かな心の育成に大きく貢献されています。

佐藤 希風 (紫雲古津)
東海大学付属札幌高等学校3年
第70回北海道吹奏楽コンクール高等学校A編成部門で金賞を受賞され、全国大会である第73回全日本吹奏楽コンクール高等学校後半の部に出場。(令和5年度、6年度に続く受賞)

前川 七星 (本町)
山田 実空 (荷菜)
芳野 紗羅 (荷菜)
第75回全道高等学校演劇発表会で優秀賞を受賞され、第20回春季全国高等学校演劇研究大会に出場。(前川さん、山田さんは令和6年度に続く受賞)

平取町教育奨励表彰授与式



受賞者
(前列左から)
日高雅楽会
佐藤 希風 さん
(後列左から)
芳野 紗羅 さん
山田 実空 さん
金谷 美玖 さん
海野 春空 さん

【スポーツ奨励表彰】

川上 夢太 (紫雲古津)
札幌日本大学高等学校2年
第79回国民スポーツ大会剣道競技選手選考会少年男子の部Dブロックにおいて優勝され、全国大会である第79回国民スポーツ大会剣道競技少年男子の部に出場。また、第45回北海道高等学校新入剣道大会兼第35回全国高等学校剣道選抜大会予選会全国団体戦において優勝され、第35回全国高等学校剣道選抜大会に出場。(令和4年度、6年度に続く受賞)

金谷 美玖 (荷菜)
海野 春空 (去場)
駒澤大学附属 苦小牧高等学校3年
矢田 風和 (本町)
駒澤大学附属 苦小牧高等学校1年
第53回マーチングバンド全国大会北海道代表選考会で金賞・会長賞を受賞され、全国大会である第53回マーチングバンド全国大会高等学校の部で銀賞を受賞。(金谷さん、海野さんは令和5年度、6年度に続く受賞)

握力がやや高め！ 体力合計点は中2男子以外はやや低い傾向！

～令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果から～

文部科学省は、令和7年度実施の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について、12月までに結果分析した内容を、1月に公表しました。

この調査結果を基にした平取町の児童生徒の各種目における概要は、下表のとおりです。

*全国平均を50としての比較：小学校5校5年生(男子22名、女子21名)、中学校2校2年生(男子12名、女子13名)

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ボール投げ	体力合計点
相当高い	+7以上								
高い	+5～+7								
やや高い	+3～+5	5男2男							
ほぼ同様上位	+1～+3			2男			2女	5男5女	2男
ほぼ同様	-1～+1	5女2女	5男2男	2男		2男2女	5男2男	2男2女	
ほぼ同様下位	-3～-1		5女	5女	5女2男		5女		
やや低い	-5～-3		2女		2女				5男5女2女
低い	-7～-5			5男2女	5男	5男5女			
相当低い	-7以下						2女		

5：小学校5年生 2：中学校2年生 *ボール投げは、小5ソフトボール投げ、中2ハンドボール投げ

■総合評価 (体力合計点：上位からA・B・C・D・E)

	A	B	C	D	E
小5男	10.0%	20.0%	5.0%	40.0%	25.0%
全国	11.6%	22.6%	31.6%	22.2%	12.0%
小5女	6.3%	25.0%	31.3%	31.3%	6.3%
全国	12.6%	23.5%	33.2%	21.8%	8.8%
中2男	10.0%	30.0%	30.0%	30.0%	0.0%
全国	10.2%	25.8%	34.1%	21.9%	8.1%
中2女	0.0%	37.5%	37.5%	25.0%	0.0%
全国	25.3%	18.5%	27.5%	15.0%	3.8%

*今年度は、中学校2年生男子以外は、上位層の割合は全国より低い結果となりました。
*中学校2年生男子はどの種目も全国平均と大きな差はなく、握力について、やや高い結果です。
*種目別に見ると、上体起こし、長座体前屈が昨年同様に低い傾向にあり、柔軟性について課題が見られます。
*昨年度と比較し、立ち幅跳び、ボール投げについて数値が少し下がっています。

【質問紙調査結果から一 平取町の傾向】

○運動するのが好き — 小5男子77.3% (全国72.7%)、小5女子42.9% (全国54.1%)
中2男子66.7% (全国66.4%)、中2女子33.3% (全国43.0%)

○1日(平日)のスクリーンタイム(TV、スマホ、ゲーム等) ※色付きの数値は、全国以上のもの

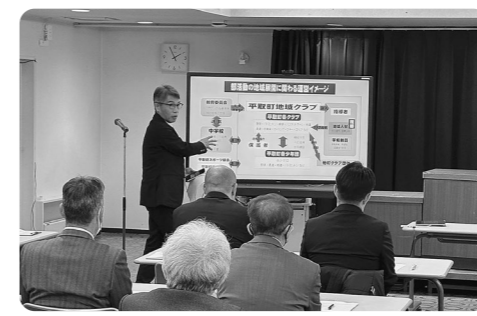
	1.5h～	2.4～5h未満	3.3～4h未満	4.2～3h未満	5.1～2h未満	6.1h未満	全く見ない
小5男子	28.6%	19.0%	23.8%	9.5%	14.3%	4.8%	0%
小5女子	19.0%	19.0%	28.6%	0%	19.0%	14.3%	0%
中2男子	33.3%	0%	8.3%	16.7%	33.3%	8.3%	0%
中2女子	8.3%	25.0%	33.3%	25.0%	8.3%	0%	0%

◆「運動が好き」という割合は、小学生の方が高く、1日のスクリーンタイムは、中学生の方が長い結果となっており、昨年度より長くなっています。家庭でのルールを決めるなど、規則正しい生活リズムをつくり、適度な運動を心掛けましょう。

平取町としての体力向上策 (各学校・関係団体等での主な取り組み例)

- ◆全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び新体力テストを活用した検証改善サイクルの確立 (小中学校における新体力テストの全学年全種目実施による実態把握と共有)
- ◆体育専科教員を活用した指導体制の充実とICT活用による体育の授業改善の推進
- ◆一校一実践の積極的な推進及び運動の日常化への取組の強化 (マラソン大会、一輪車の取組、全校遊びの企画等)
- ◆栄養教諭による定期的な指導及び教育活動全般を通じた食育の推進

部活動地域展開「平取町地域クラブ」設立



2月16日(用)に中央公民館で平取町地域クラブ設立総会が開催されました。
平取町地域クラブとは、国の部活動改革に合わせ、中学校の部活動を地域に住む様々な関係者が連携・協力し運営していくための母体となる組織で、将来にわたって子どもたちがスポーツ・文化芸術活動を継続できる環境を維持することを目的としています。
今後は、クラブチームとしての準備が整った種目から地域クラブに加入し、まずは休日の活動、そして2031年(国が示す指標)までに、平日も合わせた全ての活動を平取町地域クラブで行うことを目標に準備を進めていきます。



平取町の皆さんに知ってほしい

地域みらい 留学生のおはなし



フキノトウも芽吹き始め、すっかり雪も消えた平取町ですが、この冬、地域みらい留学生はウィンタースポーツを楽しみました。寮生の大半が雪や氷に閉ざされる冬の北海道初体験です。今回は、留学生たちが冬を楽しむ様子をご紹介します。

カーリングを満喫

1月20日（火）、振内カーリング場で平取高校1・2年生がカーリングに挑戦しました。コツをつかむのも早く、氷上のスポーツをととても楽しんでいました。



星野リゾート・トナムへ

2月23日（月・祝）は、星野リゾート・トナムに寮生総出で行ってきました。3連休最終日とあって、多くのスキーヤーであふれる中、さすが現役高校生。初めてのスノーボード・スキー体験だったにもかかわらず、見事に乗りこなしている姿に思わず感心してしまいました。

帰ってきてすぐに「また行きたい」と感想を述べるほど、すっかり冬の北海道に魅了されてしまったようです。また来年、みんな遊びに行きましょう。



【まちづくり課からのお知らせ】

平取町では、平取高校学生寮運営に協力頂ける『見守り応援団』を募集していますので、ご協力をお願いします。詳細は、まちだよりをご覧ください。

Instagram



地域みらい留学@平取町

第3回公民館講座

ソーラーハウスをつくってみよう！

1月31日（土）、パナソニック株式会社エレクトリックワークス社の協力により、親子向けの公民館講座を実施しました。21名の親子が参加し、全32工程の工作キット「ソーラーハウス」づくりに挑みました。

講師の説明のもと、木製のパーツを外し、左右上下を間違わないようにボンドやねじで組み立てていき、「こうじゃない!?!」「こっちだよ!」など親子で協力しながら、子ども達は、完成したソーラーハウスを手にとり、嬉々として灯りをつけるスイッチを入れていました。

また、パナソニックの講師から地球温暖化対策に関すること、役場まちづくり課からは防災やバイオマス発電の取り組みについて学びました。

参加者からは「ソーラーパネルのしくみをはじめて知ることができた。自分の町の取り組みも詳しく知れてよかった」、「上手にできてうれしかった」といった声があり、楽しく学びを深めることができました。



高砂・義経 二大学合同学園祭

教育委員会では、振内町・本町の2地区において「健康で生きがいのある幸福な生活を求めて」を目的に高齢者大学の活動が行われています。

2月19日（土）には1年間を締めくくる活動として、二大学合同学園祭が振内町民センターで開催されました。学園祭では、学生自ら製作した衣装を身にまとい、舞踊・合唱・カラオケなど22演目の様々な発表がありました。中でも腹踊りの衣装は大変完成度の高い衣装となっていました。

最終演目では、一般観覧者も誘い、会場全体で平取音頭を踊り学園祭を締めくくりました。



高砂大学 舞踊「狙いうち」



代表挨拶
高砂大学会長 福澤 輝子



義経大学 歌と踊り「恋の季節」

長靴ホッケー大会

in 二風谷コタンDAY

2月7日（土）、にぶたに湖特設会場（二風谷ダム野外ステージ側・湖上スケートリンク）において、第28回平取町長靴ホッケー大会が開催されました。コロナ禍以降、7年ぶりの開催となった本大会には、町内の職場や有志グループなどから9チーム92名が出場。子どもから大人まで幅広い世代が参加し、会場は朝から活気に包まれました。

長靴で気軽に楽しめる競技として初心者も多く、男女混合チームが氷上で熱戦を展開。転びながらも懸命にボールを追う選手たちの姿に、会場からは歓声や笑いが起こり、終始なごやかな雰囲気の中で大会が進みました。

厳しい寒さの中、冬ならではのスポーツを通じて参加者同士の交流が深まり、地域のつながりを感じる一日となりました。



図書館へよう

○開館時間 火～金曜日 9:30 ~ 18:00
土・日曜日 9:30 ~ 17:00

○休館日 月曜日・祝日
※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館



図書館カレンダー

4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

新着図書

★他にもあります
★オンラインで検索できます

【一般書 (小説・エッセイ)】
『涯しない影に』／赤川次郎
『ノーウェア・ボーイズ』／井上先斗
『ゴルフ人生、泣いて、笑って』／江上剛
『言問ラソディ』／小野寺史宜
『あなたの命綱』／久坂部羊
『暗黒の彼方』／堂場瞬一
『DANGER』／村山由佳
『今日もぼーっと行ってきます』／中島京子
『高校に行かないと決めた14歳の日から』／七井マリ
【児童書】
『モンスター・ホテルでリサイクル』／柏葉幸子
『クリーム、シリアとアメリカのはざままで』／シア・カルー・サファディ
『ジャガイモをそだてたら』／鈴木純
『こども新聞記者入門』／朝日小学生新聞
『世界のまいにちごはんいただきます! アジア編』／阪口克文
『古代文明ビジュアルブック』／近藤二郎

【一般書 (その他)】
『長生きしたけりゃ、肝臓と腎臓を同時に整えなさい』／栗原毅
『超図解災害サバイバルガイド』／進士徹
『3・11 復興ふるさとの記憶を遺す希望の文化財』／山田菜の花
『羊毛フェルトの変装ちびねこ軍団』／MTK SHEEP
『寄せ植えのはじめかた』／主婦の友社
『暮らしの彩り折り紙』／フチモトムネジ
『7回転んでも8回起きる』／高木菜那
【絵本】
『きょうはなにきる?』／くらはしれい
『くろくんたちのすてきなおえかき』／なかやみわ
『ねこいる! いる!』／たなかひかる
『はたらく農家』／吉田亮人・写真 矢萩多聞・文
『めだまのスポット ふたりでさんぽ』／田中達也
『もっとこどもかいぎ』／北村裕花

新着DVD紹介

【映画 (邦画)】
『少年と犬』／馳星周 原作
【ドキュメンタリー】
『シャクシャインとは何者か?』
『アイヌプリ』
【アニメ】
『映画おしりたんていスター・アンド・ムーン』
『白雪姫と7人の小人』
『忍たま乱太郎 ドクタケ忍者隊最強の軍師』
『101匹わんちゃん』
『プリンセスと魔法の花』
『ミッキー&フレンズ クラシック・コレクション』

4月の展示のお知らせ

こどもの読書週間

■期間: 4月7日 (火) ~ 5月22日 (金)
■場所: 図書館 カウンター前



●オンライン予約ができます●

「ログインパスワード」は図書館のカウンターで発行しています。

【お問い合わせ】平取町立図書館

☎ 電話 01457-4-6666
☎ FAX 01457-4-6871
☎ メール risu2@guitar.ocn.ne.jp
■Web ■携帯



すこやかだより

保健福祉課からのお知らせ

「存じですか?」 自分の血圧

『高血圧』を予防しよう

健康診断や日ごろの健康管理で血圧を気にしたことはありませんか?
『高血圧』は、『サイレントキラー』(静かなる殺し屋)と呼ばれ、ほとんど自覚症状がありませんが、放置してしまふとより重大な病気につながります。

そもそも高血圧とは

血圧とは、心臓から送り出される血液が全身へと流れていく際に血管の内側にかかる圧力のことです。この圧力は心臓の働き(収縮・拡張)によって発生します。
高血圧とは、血流によって血管にかかる圧力が、慢性的に高い状態のことを指します。長期間にわたり高い圧力にさらされた血管は、古いゴムホースのように硬く厚くなっていき、その結果、もろく傷つきやすい血管になってしまいます。これが『動脈硬化』です。
動脈硬化が進むと、血管の内側が狭くなって血液の流

れが悪くなったり、血栓(血の塊)ができて血管を詰まらせるなどして、脳梗塞や心筋梗塞といった病気を引き起こします。高血圧は、こういった重大な病気の凶元でありながら、自覚症状がないまま進行していくため『サイレントキラー』と呼ばれています。

血圧の基準値

特定健診で血圧の基準値は、130/80です。血圧は常時変動しています。まずは、日ごろの自分の血圧を知ることが大事です。

なお、家庭で血圧測定する場合のタイミングは、起床後一時間以内(排尿後・朝食前・服薬前)と就寝前(入浴後一時間以上空けて)がお勧めです。安静状態で、正しい姿勢で測定しましょう。血圧に不安を感じ医療機関を受診する際にも、家庭での血圧の記録などを持参すると良いです。



自分でできる対策も

高血圧になる原因には遺伝的な要因と環境的な要因があります。その中でも環境的な要因は、塩分のとりすぎや運動不足、肥満、ストレス、喫煙、飲酒など幅広くあります。

最近では、二十代・三十代などの若い年齢層でも高血圧の人が増えています。生活習慣が乱れることで誰でも発症する可能性がある高血圧ですが、生活習慣を見直し、改善することで、予防することができます。

定期的な健診が 大切です

高血圧を含め生活習慣病を早期に発見するためには、定期的な健診を受けることが大切です。

また、健診結果を踏まえて生活習慣を見直し、自分の健康は自分で守ることが重要です。

なお、健康相談、栄養・歯科相談はいつでもお受けしています。ご利用ください。

【お問い合わせ】

保健福祉課 保健推進係
(ふれあいセンターびらとり)
☎ 4・6112

高血圧予防のポイント

- ① 減塩
血圧が高い人は6g/日を目標に!
・香辛料や酢、柑橘類の酸味などで味にアクセントをつける
・調味料は「減塩」のものを選ぶ
・天然だしのうまみを生かす
・余分な塩分を体外に出す成分カリウムを多く含む野菜や果物を多く摂る
- ② 運動
・気軽に始められるウォーキングなどの有酸素運動がお勧め
・代謝を良くして肥満予防
- ③ 禁酒と節酒
・喫煙は血管を収縮させたり、血管壁を傷つけ動脈硬化を早めてしまうので即禁煙を!
・飲みすぎは血管を収縮させたり、心拍数を上げるため血管に負担がかかります

★★★★ 図書ワゴン運行予定 ★★★★★

■次回 4月2日 (木)

【振内地区】 10:00~12:00 山の駅ほろしり館
【貫気別地区】 14:00~16:00 貫気別生活館

■貸出期間は次回の巡回日までになります。

■毎月第一木曜日に運行します。

■貫気別支所・振内支所(青少年会館)で返却できます。



櫓の実俳句会

二回目の北の早春背伸ばす
石鉢の薄氷を踏む群れ雀
二度寝して「いい日旅立ち」春浅し
今日もまた外をながめて春を待つ
シトシトと頬を濡らして名残り雪
春彼岸ずぶつずぶつと墓目指す
春風邪やアルトの声の艶やかさ
春一番土と憂鬱飛ばしゆく
雛飾るおすべらかしの絹糸や
春浅し澄みゆく空と道碧し
余寒なお風邪を気にして老暮し
轉りやひととき憩う窓の外

朝田 雪明
遠藤 紫光
加藤えい子
川上八重子
熊谷 厚子
千葉 俊子
長野 新一
中村 節子
西 希
野口勢津子
道政サツ子
渡辺 正子

平取町 LINE 公式アカウント はじめました！

令和8年3月より「平取町 LINE 公式アカウント」の運用を開始しました。

生活や子育て、防災に関する情報などにアクセスしやすくなったほか、行政情報やイベントの案内もタイムリーにお届け可能になりました。

QRコードから **友だち追加・受信設定** をして町からのお知らせをぜひチェックしてください。



友だち追加は
こちらから

まちの人口と世帯数

	人口	世帯数	(前月比)
人口	4,360 人	2,380 世帯	(△ 8 人)
男	2,162 人		(△ 5 人)
女	2,198 人		(△ 3 人)
世帯数			(0 世帯)

※令和8年2月末現在の住民基本台帳による

戸籍の窓口

役場関係
電話番号

平取町役場
総務課(代表) ☎ 2-2221
まちづくり課 ☎ 2-2222
アイヌ施策推進課 ☎ 2-2341
観光商工課 ☎ 3-7703
産業課 ☎ 2-2223
農業委員会・土地改良区 ☎ 2-2695
税務課 ☎ 2-2224
出納室 ☎ 2-2225
建設水道課 ☎ 2-2226
議会事務局 ☎ 2-2227

ふれあいセンターびらとり ☎ 4-6111
町民課 ☎ 4-6113
保健福祉課
保健推進係・子育て支援係 ☎ 4-6112
介護支援係・介護保険係 ☎ 4-6114
児童館 ☎ 2-3026
子ども発達支援センター ☎ 2-3400
地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎ 2-3700

平取町教育委員会
生涯学習課 ☎ 2-2619
中央公民館 ☎ 2-2619
町民体育館 ☎ 2-2749
二風谷アイヌ文化博物館 ☎ 2-2892
沙流川歴史館 ☎ 2-4085
図書館 ☎ 4-6666

役場振内支所 ☎ 3-3211
役場貫気別支所 ☎ 5-5204
平取町国民健康保険病院 ☎ 2-2201
平取町社会福祉協議会 ☎ 4-2267
平取町外2町衛生施設組合 ☎ 2-2024
平取消防署 ☎ 2-2361



ホームページ
QRコード

ふるさと納税寄附

令和8年2月寄附件数・寄附金額
332件 8,189,500円
令和7年度累計
(4月1日～2月28日まで)
16,160件 332,163,863円